

児童クラブ 改善どうする？

改善を求めてきたのに

猿渡（えんど）久子市議は、3月13日の市議会予算特別委員会で、児童クラブについて質問。

「12月議会で児童クラブの現状を訴え、課長も早期の改善が必要と答弁している。今回南立石の施設整備の予算は上がっているが、朝日などはどうするのか」と迫り、児童家庭課長は「クラブ室の整備は年次計画で行っている。当面は既存の小学校や幼稚園の施設を活用するよう、引き続き教育委員会と協議する」と答弁。えんど市議は「すぐに春休みが来る。しっかり対応を」と重ねて強調しました。

児童虐待防止のために

また、猿渡（えんど）久子氏市議は、児童虐待防止の件で質疑。相談員さんを指導できるスーパーバイザーについて「経験豊富な外部の方に複数お願いすべき」と質問。部長は検討したい旨の答弁をしました。

市長の公約違反を批判

えんど久子市議は、国保税の問題で質疑。「市長選挙の公約である国保税の引き下げが出ていないのは残念でならない。市民は公約に期待して投票したのにと考えるのか」と迫ると、浜田市長は「負担軽減という公約をした。これ以上値上げできないと一般会計からの繰り入れをしてきた」と答弁。

えんど市議は「それは言い訳だ。市長の公約は重たい。現職市長ができないことを公約したのか」と批判しました。



別府市議会HPで本会議の録画をご覧ください。日本共産党別府市議団やえんど久子のHPもご覧ください。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
Tel.0977-22-6576

No.597
2014.3.27.

4月施行 共に生きる条例

期待に応える予算を

猿渡（えんど）久子市 ということがないように。

議は予算特別委員会で、4月施行の障害がある人もない人も安心して安全に暮らせる条例（共に生きる条例）の関連予算について、「全庁体制で取り組むと言ってきたが、予算は淋しい」と質問。予算説明を受け、えんど市議は「全庁的にどの課も自分の課は関係ない

今後、期待に応えられる予算措置を」と職員研修などを求めました。福祉保健部長は「職員一人ひとりの意識の向上なくしてはこの条例がめざす共生社会は実現できない」と、また総務部長が「効果的な研修をすすめていきたい」と答弁しました。

共に生きる条例関連新年度予算

共生社会形成の経費 (広報啓発・バリアフリー 情報提供・差別事案解決 委員会・親亡き後の問題 解決検討委員会)	約246万
相談員(社会福祉士) 2名の人件費	約523万
障がいへの理解促進の ための協働推進事業	100万
歩道の段差解消	300万
計	約1170万

障がい児の居場所増える

障がいがある子ども達の放課後や夏休みなどの居場所である放課後等デイサービスは、この2年間にゼロから6か所に、日中一時支援事業は2年間に7か所から8か所に増えまたことをえんど市議の質問に答弁。

えんど久子市議は、条例づくりの議論や世論の高まりの成果だと述べました。

グループホームも増えます

また、知的障がい者の生活の場であるグループホームがほしいという声が上がっていました。別府で2か所目ができる

ことになりました。補正予算に施設整備補助金282万円が計上され、可決されました。

